

授業科目 臨床栄養学 II

【担当教員名】 永井 徹		対象学年	2	対象学科	健康		
		開講時期	後期	必修選択	必修		
		単位数	2	時間数	30		
【ディプロマポリシーとの関連性】							
知識・理解		思考・判断		態度	技能・表現		
◎		◎		◎	◎		
【概要・一般目標：G10】 臨床栄養学Ⅰで学習した疾患、病態をさらに発展させ、諸疾患に関する知識を修得するとともに、栄養学的見地からの疾患、病態および病期における栄養療法の選択を学ぶ。							
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 傷病者の病態や栄養状態に基づいた適正な栄養管理を理解する。 2. 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。 3. 臨床栄養に必要な知識と技術の応用力を身につける。							
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	高尿酸血症と痛風の病態と栄養療法			1～3	講義		
2	骨粗鬆症の病態と栄養療法			1～3	講義		
3	虚血性心疾患の病態と栄養療法			1～3	講義		
4	糖尿病腎症の病態と栄養療法			1～3	講義		
5	腎疾患 1（糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養療法）			1～3	講義		
6	腎疾患 2（慢性腎臓病の栄養療法）			1～3	講義		
7	腎疾患 3（血液透析と腹膜透析の栄養療法）			1～3	講義		
8	血液疾患、感染症の栄養療法			1～3	講義		
9	呼吸器疾患の栄養療法			1～3	講義		
10	消化器疾患 1（胃腸、クローン病、潰瘍性大腸炎の栄養療法）			1～3	講義		
11	消化器疾患 2（肝炎、肝硬変、膵疾患の栄養療法）			1～3	講義		
12	免疫、アレルギー疾患の栄養療法			1～3	講義		
13	その他 臨床栄養学実習（臨地）に必要な知識の学習 1			1～3	講義		
14	その他 臨床栄養学実習（臨地）に必要な知識の学習 2（入院食事療養費）			1～3	講義		
15	まとめ			1～3	講義		
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 臨床栄養学 中村丁次、小松龍史 他 南江堂 2014・3,800円＋税					
教科書 (必ず購入する書籍)							
参考書		改訂第4版病態栄養ガイドブック 日本病態栄養学編 メディカルレビュー社 2013・3,500円＋税					
その他の資料							
【評価方法】 出席状況、定期試験から評価		【履修上の留意点】					